

# 自動火災報知設備受信機 劣化診断報告書

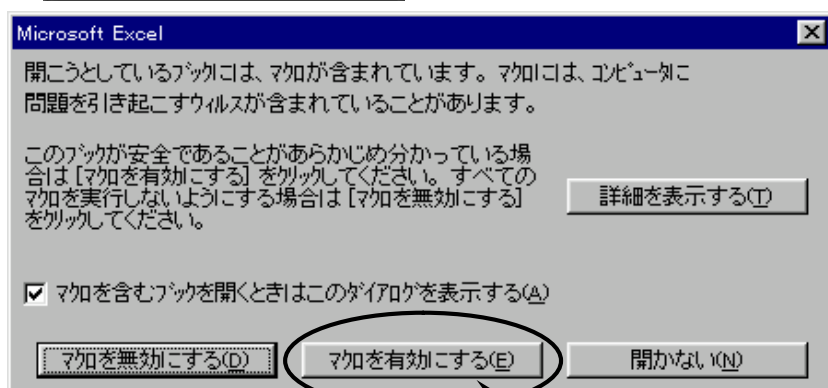
P型用  
EXCEL操作手順書

2008年 10月  
パナソニック電工株式会社  
HA・セキュリティ事業部

## 0.ファイルの開き方



「P型受信機劣化診断(チェックシート・報告書) (Ver3.0).xls」のファイルをWクリックして開いて下さい。



ここを選択する

・ファイルを開くと上記のようなメッセージが出てくる場合がありますので「マクロを有効にする(E)」を選んで下さい



・このようなメッセージが出てくる場合は「OK」をクリックして下さい。

・シートの保存について  
[ファイル][名前を付けて保存]を選択して 新しい名前を付けてシートを保存して下さい。  
この原本シートは『読みとり専用』になっていますので同じ名前では保存はできません。

## 1.起動時の画面 と シート構成

Microsoft Excel - 劣化診断報告書[P型] (Ver1.0).xls [読み取り専用]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS P明朝 12 B I U 75%

質問を入力してください

整理番号 \*

### 自動火災報知設備 劣化診断報告書 (P型)

劣化診断実施日		**** 年 * 月 * 日 ( * )			
対象設備	設置物件名	*		所在地	*
	設置場所	*		設置環境	○ 半屋外 ○ 屋内 □ 高温 □ 多湿
	型名	*		型式名	受第 * ~ * ~ * 号
	製造年	*		立会者	*
劣化診断実施者	所属会社	*		所在地	*
	担当者氏名	*		所有資格	甲種防火設備検査士番号 * 劣化診断資格者証登録番号 * -MD- *

### 劣化診断結果

劣化診断の結果は下記の通りです。  
尚、詳細及び補修部品の保有状況については、別紙劣化診断チェックシートをご参照下さい。

診断結果 1	補修部品の交換によっても改善できない劣化や、不具合の改善に要する費用が経済的に見合わない劣化が右記の数ありますので、早期に設備更新されることをお勧め致します。	0 個
診断結果 2	経年変化を含めた摩擦等による劣化指数(総合劣化度)は、右記の通りです。	0.0 /100

劣化診断報告書 / 入力表(1) / 入力表(2) / 入力表(3) / 劣化度計算表

- 1.劣化診断報告書
- 2.入力表(1)
- 3.入力表(2)
- 4.入力表(3)
- 5.劣化度計算表

左記の5シート(表紙は除く)で構成されています。

・各シートの入力については、次頁以降の操作説明書を参照して下さい。

・シートの保存について

[ファイル][名前を付けて保存]を選択して 新しい名前を付けてシートを保存して下さい。  
この原本シートは「読みとり専用」になっていますので同じ名前では保存はできません。

## 2.劣化診断報告書のシート について

Microsoft Excel - 劣化診断報告書(P型) (Ver1.0) xls [読み取り専用]

MS P明朝 12 75%

このマークが表示されているところのみ、文字の入力が可能です。

この [ ] 内に記入されたデータは、次頁以降自動的に記入されます。

このボタンはどちらか1つしか選択できません。

このボタンはどちらか1つでも両方でも選択できます。

劣化診断実施日		**** 年 * 月 * 日 ( * )	
対象設備	設置物件名 *	所在地 *	
	設置場所 *	設置環境 <input type="radio"/> 半屋外 <input type="radio"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 高温 <input type="checkbox"/> 多湿	
	型 名 *	型式名	受第 * ~ * ~ * 号
	製 造 年 *		
劣化診断実施者	所属会社 *		
	担当者氏名 *	所有資格 *	劣化診断資格 *

### 劣 化 診 断 結 果

劣化診断の結果は下記の通りです。  
尚、詳細及び補修部品の保有状況については、別紙劣化診断チェックシートをご参照下さい。

診断結果 1	補修部品の交換によっても改善できない劣化や、不具合の改善に要する費用が経済的に見合わない劣化が右記の数ありますので、早期に設備更新されることをお薦め致します。	0 個
診断結果 2	経年変化を含めた摩擦等による劣化指数(総合劣化度)は、右記の通りです。	0.0 /100

シートタブ: 劣化診断報告書 / 入力表(1) / 入力表(2) / 入力表(3) / 劣化度計算表 /

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド

- ・入力項目について  
上記画面において“\*”が付いている項目が入力できる項目となります。  
入力項目には、“Tabキー”を押すことによって順次カーソルが動きます。  
（“Shift+Tabキー”では前の入力項目に戻ります。）  
また、“\*”の上をマウスでクリックすることによっても入力が可能です。
- ・設置環境の半屋外と屋内については、該当する方のボタンをクリックして下さい。  
両方のボタンをクリックすることはできません。
- ・設置環境の高温と多湿については、該当すればボックスをクリックしてチェックを入れて下さい。  
両方にチェックを入れることも可能です。
- ・上記以外の項目については入力はできません。  
診断結果等については入力表(1)～(3)と劣化度計算表の入力結果が表示されます。

### 3.入力表のシート について

#### ・判定結果の入力について

各診断箇所の判定結果欄にあるボタンをクリックして下さい。  
クリックして黒丸が付いた項目が選択された状態になります。

このボタンをクリックすることにより診断結果の数が自動的にカウントされます。

#### ・補修部品の有無の入力について

各補修部品の下にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れて下さい。  
“無”から“有”に変わります。 もう一度クリックすることにより“無”に変わります。

注) 入力表(2),(3)も同様の入力方法です。

#### 4.劣化度計算表のシート について

Microsoft Excel - 劣化診断報告書(Ⅱ型)(Ver1.0).xls [読み取り専用]

MS P明朝 12

この欄の名称等は、1枚目の「劣化診断報告書」と連動しています。(修正するときは「劣化診断報告書」の名称等を変更して下さい。)

対象設備 設置物件名 \* 実施日 \*\*\*\* 年 \* 月 \* 日 ( \* )

型 名 \* 型式名 受 第 \* ~ \* ~ \* 号

①劣化診断により問題有( A )又は( B )と判定された数と各々の素点により、診断で発見された劣化部分の合計点数 D を計算する。

$$D = \left( \text{重量(A)と判定された数} \right) \times 3 \text{点} + \left( \text{軽度(B)と判定された数} \right) \times 1 \text{点}$$

②劣化診断により問題なしと判定された部分の合計点数 E を計算する。

$$E = 130 - \left( \text{該当なしの重量(AN)数} \right) \times 3 \text{点} - \left( \text{該当なしの軽度(BN)数} \right) \times 1 \text{点}$$

③劣化診断により顕著な外的劣化が見られず問題なしと判定された部分についても環境係数と経年乗数分の内部劣化 F が進んでいると考え計算する。

$$F = E \times \text{環境係数} \times \text{経年乗数}$$

環境係数

設置環境	屋内(外気の影響が無く、電子機器の設置に支障のない場所)	高温、多湿、振動、直射日光の当る場所	半屋外(外気の影響が有る場所)
設置後20年未満	1.0		1.2
設置後20年以上			1.2

経年乗数

設置年数	係数	設置年数	係数
14 年	0.300	25 年	0.600
15 年	0.320	26 年	0.620
16 年	0.40	27 年	0.640
17 年	0.480	28 年	0.660
18 年	0.500	29 年	0.680
19 年	0.600	30 年	0.700
20 年	0.620	31 年	0.720
21 年	0.645	32 年	0.740
22 年	0.670	33 年	0.760
23 年	0.690	34 年	0.780
24 年	0.820	35 年	0.800
		13年未満	0.280

④劣化部分の合計 D と劣化診断で問題なしとされた部分の内部劣化 F を合計し、百分率で劣化度を計算する。

劣化診断報告書(Ⅱ型)入力表(1) 入力表(2) 入力表(3) 劣化度計算表

図形の調整( R ) オートシェイプ( U )

該当のボタンをクリックして下さい。

\* 各項目の合計点数は入力表(1)～(3)で選択したものが自動的に計算されています。

#### ・環境係数の入力について

設置環境によって、該当するいずれかのボタン(1.0)(1.2)をクリックして下さい。  
式の中にある環境係数の枠の中に係数がセットされて、自動的に劣化度の計算を行います。

#### ・経年乗数の入力について

該当の設置年数にあたるボタンをクリックして下さい。  
式の中にある経年乗数の枠の中に乗数がセットされて、自動的に劣化度の計算を行います。



## 5.最終結果

Microsoft Excel - 劣化診断報告書【P型】(Ver1.0).xls [読み取り専用]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS P明朝 12

自動火災報知設備 劣化診断報告書 (P型)

整理番号 \*

劣化診断実施日		**** 年 * 月 * 日 ( * )	
対象設備	設置物件名	*	所在地 *
	設置場所	*	設置環境 <input type="radio"/> 半屋外 <input type="radio"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 高温 <input type="checkbox"/> 多湿
	型 名	*	型式名 受第 * ~ * ~ * 号
	製 造 年	*	立会者 *
劣化診断実施者	所属会社	*	所在地 *
	担当者氏名	*	所有資格 甲種消防設備士番号 * 劣化診断資格者認定番号 * →MD← *

劣 化 診 断 結 果

劣化診断の結果は下記の通りです。  
尚、詳細及び補修部品の保有状況については、別添劣化診断チェックシートをご参照下さい。

診断結果 1	補修部品の交換によっても改善できない劣化や、不具合の改善に要する費用が経済的に見合わない劣化が右記の数ありますので、早期に設備更新されることをお薦め致します。	0 個
診断結果 2	経年変化を含めた摩擦等による劣化指数(総合劣化度)は	0.0 /100
所 見 (補修部品の劣化 状況等を含む)	突発的な要因を除き、今すぐ故障を生じる可能性は低いと判断致しました。 ご計画をお願い致します。 *	この欄に自動的に 診断結果が表示されます。

備 考 右記製造年度のニッケルカドミウム蓄電池が設置されており交換が必要です。(取替時期の目安は5~6年です。)

\* 年製

劣化診断報告書/入力表(1)/入力表(2)/入力表(3)/劣化度計算表/

図形の調整(O) オートシェイプ(U) CAPS KRN

\* 診断結果を確認していただき、印刷をします。  
ご使用のプリンタによって印刷状態が異なりますので、微調整をお願いします。